シアゾファミド水和剤 **ランマンフロアブル**

取扱メーカー: 石原, ホクサン

原体メーカー:

石原産業

成分:シアゾファミド〔シアノイミダゾール系〕………9.4%

性状:淡褐色水和性粘稠懸濁液体

毒性:普通物 消防法:——

【品目特性】…………

- ●べと病・疫病等の卵菌類病害,アブラナ科野菜の根こぶ病に対し,優れた防除効果を示す。
- ●実用処理濃度は50~100ppmで、既存防除剤と比較して最も低い濃度で優れた防除効果を発揮する。
- ●優れた残効性と耐雨性により安定した効果が期待でき、作物・生育ステージによっては、10~14日間隔の散布も可能で、農薬使用回数の低減につながる。
- ●新しい作用機作を持つシアノイミダゾール系の 殺菌剤で、既存薬剤(フェニルアマイド系、ストロビルリン系等)が効きにくくなった耐性菌にも、 優れた効果を示し、耐性菌管理に有用である。
- ●果面の汚れや果粉溶脱が少なく,収穫物の品質 を損なわない。
- ●マルハナバチ、ミツバチなどの花粉媒介昆虫や オンシツツヤコバチ、チリカブリダニなどの天敵 類への影響はほとんどない。また、ワイン醸造へ の影響もない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

- ●長期残効性を活かして7~14日間隔散布が可能で、1シーズン中の散布回数を低減できる。
- ●灰色かび病、炭疽病やうどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晩腐病、黒痘病等には防除効果がないので、それらの病害が同時発生する場合は、有効剤と組み合わせて使用する。
- ●疫病防除には予防的な防除を行う。
- ●小麦, ばれいしょに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

〈あずき, だいず及びえだまめの種子塗沫に使用する場合〉

- ●使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行う。
- ●薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用する。
- ●塗沫処理はは種当日又は前日に行う。
- ●薬剤が種子に均一に付着するように処理した 後、速やかに広げて乾燥させる。
- ●処理した種子を食用など目的外に使用しない。
- ●処理後のは種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないよう注意する。

【薬効・薬害等の注意】…………

- ●使用直前に容器をよく振る。
- ●予防効果主体の剤なので、できるだけ発病前又 は発病初期に散布する。
- ●散布液量は対象作物の生育段階,栽培形態及び 散布方法に合わせ調節する。
- ●はくさい、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、なばなの根こぶ病には、発病の激しい圃場では効果の劣ることがあるので、土壌処理剤と組み合わせて使用する。
- ●適用作物(キャベツ)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- ◆本剤を使用したわさび苗を移植する場合,使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう。苗に付着した土を十分に洗い落とす。

【安全対策上の注意】 ……………

- ●無人航空機散布の際は、共通注意事項の2.空中散布及び無人航空機(無人ヘリコプター等)による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはか からないようにする。



作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	苗立枯病 (ピシウム菌)	1000倍	育苗箱(30× 60×3 cm, 使用土壌	は種時	- 1回	土壌灌注	1 回
			約5ℓ)1箱 当り0.5ℓ	発芽後~ 緑化期			
ぶどう	べと病	1000~ 2000倍		14日前まで			
かんきついちじく	褐色腐敗病 疫病	2000倍	200 ~ 700 ℓ 100 ℓ	前日まで		散布	
日本なし		1000倍		3日前まで	3回 以内		3回以内
		250倍	25 ℓ		無人航空機による散布		
小 麦	褐色雪腐病	8倍	0.8 ℓ	根雪前		機による	
あずき	茎疫病	原液	種子重量の 2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理
		1000倍	100∼300ℓ	7日前まで	3回 以内	散布	
だいず		原液	種子重量の 1~2%	は種前	1回	種子塗沫	
	べと病	1000~ 2000倍	100∼300ℓ	7日前まで	3回 以内	散布	は1回以内,散 布は3回以内)
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量 の2%	は種前	1回	種子塗沫	
	べと病	1000~ 2000倍	100∼300ℓ	3日前まで	3回 以内		
	疫病	375倍	25 ℓ	· · · 7日前まで	4回 以内	散布	· 4回以内
ばれいしょ		600倍	40 ℓ				
19451.3 C 2		32倍	3.2 ℓ			無人航空 機による 散布	
	べと病	2000倍	100 ∼ 300 ℓ	3日前まで		散布	- 6回以内 (育苗期の灌 注は1回以内, 本圃での株元 灌注は1回以 内, 散布は4回 以内)
キャベツ			250 ml / 株	14日前まで	_	株元灌注	
カリフラワー	根こぶ病	500倍	セル成型育苗 トレイ1箱 又はペーパー ポット1冊*	定植前日~ 当日	1回	灌注	
はくさい			当り2ℓ]		
	べと病	2000倍	250 ml / 株	14日前まで	4回	株元灌注	
	ピシウム腐敗病		100 ~ 300 ℓ	3日前まで	以内	散布	

*ペーパーポットは30×60 cm, 使用土壌約2.5~7ℓ

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	シアゾファミドを含 む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科 葉 菜 類 な ば な 類 (なばなを除く)	白さび病	2000倍	100∼300ℓ	3日前まで	3回 以内	散布	3回以内
なばな	根こぶ病	500倍	セル成型育苗 トレイ1箱 又はペーパー ポット1冊* 当り2ℓ	定植前日~ 当日	1回	灌注	(灌注は1回 以内,散布は 3回以内) 5回以内 (育苗期の灌
			250 ml / 株	14日前まで		株元灌注	注は1回以内,
ブロッコリー	べと病	2000倍	100∼300ℓ	3日前まで	3回 以内		本圃での株元 灌注は1回以 内, 散布は3回 以内)
きゅうりメロン	-//4	1000~ 2000倍	150∼300ℓ		4回 以内 2回 以内 3回 以内	散布	4回以内
ブッキーニ す い か	褐色腐敗病	1000倍 1000~ 2000倍	100∼300ℓ				
とうがん	疫病 べと病 疫病 疫病 疫病	2000倍	150 ~ 300 ℓ	前日まで			2回以内
かぼちゃ							3回以内
トマト ミニトマト ピーマン とうがらし類 なす		1000~ 2000倍			4回 以内		4回以内
ね ぎ		2000倍	100∼300ℓ	3日前まで	3回		
わ け ぎ 葉たまねぎ	べと病				以内		3回以内
たまねぎ	べと病 白色疫病			7日前まで	· 4回 以内		4回以内
みょうが (花穂)		500倍	$3 \ell / m^2$	生育期 但し,収穫 3日前まで	3回 以内	土壌灌注	
(12,60)		200倍	_	植付前	1回	30分間 種根茎 浸漬	4回以内 (種根茎浸漬
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	500倍	$3 \ell / m^2$	みょうが (花穂) の収穫 3日前まで 但し、花穂を収 穫しない場合に あっては開花期 終了まで	3回以内	土壌灌注	は1回以内, 土壌灌注は3 回以内)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	シアゾファミドを含 む農薬の総使用回数
しょうが	根茎腐敗病根腐病	500倍 500~ 1000倍	$1 \sim 3 \ell / m^2$ $2 \sim 3 \ell / m^2$	生育期 但し,収穫 30日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
葉しょうが			$3 \ell/m^2$	生育期 但し,収穫 3日前まで			
こんにゃく				14日前まで			
畑わさび わ さ び	白さび病		150 ~ 300 ℓ	7日前まで 畑育苗期	2回 以内	· ·	2回以内
エンサイ		_	100∼300ℓ				3回以内
かぶ	べと病 白さび病 根こぶ病 ワッび病 べと病 白色疫病			3日前まで	3回 以内	HX 113	4回以内 (は種時の灌注 は1回以内,散
			$2 \ell / m^2$	は種時	1回	灌注	布は3回以内)
だ い こ ん はつかだいこん		2000倍	100 ~ 300 ℓ	3日前まで	3回 以内	- 散布	3回以内
みつば				収穫3日前まで 但し、伏せ込 み栽培は伏せ 込み前まで	2回 以内		2回以内
レ タ ス 非結球レタス ほうれんそう				3日前まで	3回 以内		3回以内
バ ジ ル おかひじき			150∼300ℓ		2回 以内		2回以内
らっきょう			100 ~ 300 ℓ		4回 以内		4回以内
			50 mℓ / 株	育苗期			4回以内
いちご	疫病	500~ 1000倍	100 ml / 株	生育期 但し,収穫 30日前まで	2回 以内	株元灌注	(育苗期は2 回以内,定植 後は2回以内)
ホップ	べと病	2000倍	200∼700ℓ	14日前まで		散布	2回以内